

安全報告書

2024年度

くま川鉄道株式会社

この安全報告書は、当社における鉄道輸送の安全確保のための、取り組みや安全の実態を
まとめたものです。ご意見・感想をお寄せください。

1. 利用者みなさまへ

当社の鉄道事業につきましては、日頃よりご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。当社は経営理念の第一に「安全第一」を掲げ、法令の遵守とともに安全・安定輸送に努めております。

ただ、令和2年7月の豪雨によりまして、球磨川第四橋梁はじめ多くの線路施設に多大の被害を受けました。令和3年11月28日より肥後西村駅～湯前駅間におきまして、部分運行を開始しましたが、現在も人吉温泉駅～肥後西村駅間におきましては、バスによる代替輸送を実施しており、沿線の通学利用の高校生をはじめ、多くの利用者の皆さまにご不憫をおかけしており、大変申し訳なく思っております。

全線開通までには、まだ数年かかるものと思われまます。

皆さまのご理解・ご協力を得ながら、早期復旧に向け努力をしておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや、安全の実態につきまして、自ら振り返るとともに、広くご理解いただくために公表するものです。皆さまからの「声」を輸送の安全に役立てたく、積極的にご意見を頂戴できれば幸いです。

くま川鉄道株式会社

取締役社長 永江 友二

E-meru. info@kumagawa-rail.com

令和6年度安全基本方針

令和2年7月の豪雨により、球磨川第四橋梁流失をはじめ、車両の浸水や球磨川第四橋梁前後の河川の氾濫による、道床流失や土砂堆積等被害が甚大であります。

令和3年11月より肥後西村駅～湯前駅間におきましては、部分運行を再開しましたが、現在全線復旧に向け関係者の皆さまの協力を得ながら早期復旧に向け、取り組んでいるところであります。本復旧までには、あと数年かかる見込みであります。これまで地域の「足」として親しまれてきましたが、利用されるお客さまに平成元年10月開業以来、これまで「安全第一」を基本に、地域に根差した鉄道として、お客さまに快適に利用いただける鉄道を目指し、地域の皆さまの協力のもと、地域の公共交通機関としての「足」として、より安全で快適な、そして便利な鉄道として今日まで運行してまいりました。いうまでもなく、安全こそが経営の基盤であることを社員一人ひとりが自覚し、取り組んでいかなければなりません。しかし、現状被災により全線運行ができない状況であり、代替えバスを運行しておりますが、通学生の足としては、定時制、速達性、大量輸送等考慮した場合、列車と比較すると大きな課題があり、今後早期復旧に向けしっかりと計画のもと、災害に強い線路づくりをしなければなりません。国、県、地元沿線自治体の理解・協力のもと財政支援はもちろん、地元

は、絶対なくてはならない鉄道として、皆さまの応援、理解を得て早期復旧に向け取り組んでまいります。

1. 輸送の安全確保に関する基本的な考え方

(1) 安全基本方針

当社の経営理念は、第一に「安全」こそ経営の基盤守り続けます。

第二に、常に挑戦し続けます。

第三に、社会の変化に柔軟に対応し、地域社会に貢献します。となっており、安全の綱領を次のように掲げ、社長以下社員全員に周知徹底しております。

1. 安全の確保は、輸送の生命である。
2. 規定の遵守は、安全の基礎である。て
3. 執務の厳正は、安全の要件である。

(2) 安全目標

鉄道安全目標を（2019～2023年度）次の通り定め、これに向かって社長以下社員一緒になって取り組んでまいります。

- 列車事故（衝突・脱線・火災）この種事故は発生させない。
- 鉄道人身傷害事故 お客さまに怪我等が及ぶような事故は起こさない。
- 踏切障害事故 発生させない。

2023年度 列車事故、鉄道人身傷害事故、踏切障害事故は0で推移しました。

(3) 安全目標に対する実績（件数）

区 分	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
列車事故	0	0	0	0	0
乗客の死亡事故	0	0	0	0	0
踏切の故障に伴う事故	0	0	0	0	0

2. 輸送の安全の実態

(1) 鉄道運転事故

区 分	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
事故件数	0	0	0	0	0
死傷者	0	0	0	0	0
うち死亡者	0	0	0	0	0

※鉄道運転事故とは列車事故、踏切障害事故、鉄道人身傷害事故、鉄道物損事故の総称

(2) 災害（地震、暴風雨などによる鉄道施設への被害）

令和2年7月豪雨により被災した、球磨川第四橋梁流失はじめ線路施設においても甚大な被害が発生した関係で、人吉温泉駅から肥後西村駅間においては、いまだ運休中であります。

2023年度は、大雨や台風接近に伴う計画運休をはじめ26本の運休が発生しました。ご利用のお客さまには、多大なご迷惑をおかけしました。ただ、線路設備への影響はありませんでした。

(3) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

2023年度に発生した輸送障害は次表のとおりです。

項 目	件 数	特記すべき輸送障害
自然災害	4	地震や大雨・大雪により生じたもの
設備故障	0	車両・保安装置の不具合により生じたもの
第三者障害など	0	踏切障害事故や列車支障により生じたもの

(4) インシデント（事故の兆候）

2023年度、国土交通省へのインシデント報告はありませんでした。

※インシデントとは、重大な事故などへつながるおそれのある事故

(5) 行政指導等

2023年度は、行政から指導を受ける事象はありませんでした。

3. 重点安全施策の内容

(1) 重点安全施策

当社では安全第一を基本に、工事に対する安全対策として、現場への安全パトロールでの指導を含め、安全作業への実施状況等チェックをしながら事故防止に取り組んでおります。直轄におきましても、駅での運転取り扱い、平日運行ダイヤ、土休日運行ダイヤでの作業手順も変わってきますので、それぞれが一つ一つ確認して、しっかりと連絡・連携しながら事故防止に取り組んでおります。現場の社員についても、基本ルールを厳守しながら、早め退避の励行等周知徹底を図り事故防止に取り組んでおります。

(2) 異常時対応訓練

当社では、安全・安定輸送を第一に異常時対応訓練を実施し、知識・技術力の向上に取り組んでいるほか、有事の際のお客さまを守るための訓練も実施しております。

- ① 駅間において、車両が故障した時の、取り扱いについて訓練を実施いたしました。
- ② あさぎり駅構内において、車内に不審者がいたという設定で管轄の警察・消防と合同で防犯訓練を実施しました。
- ③ あさぎり駅構内で梯子をつかって、実際にお客さまを救助する手順を乗務員全員で実施しました。

(3) 安全・安定輸送のための設備投資

設備面では、レールの重軌条化、マクラギのTPC化（コンクリートマクラギ）、踏切保安設備更新、車両の法定検査等、毎年計画的に実施してまいりましたが、令和2年7月の豪雨により被災したことで、2023年度は車両検査のみの実施で当初計画しておりました、設備投資については、延期した次第です。今後の設備更新につきましては、補助制度を有効的に活用しながら安全・安定輸送の維持・向上を図ってまいります。

◎安全のための投資

○施設関係

線路設備補修	10,950千円
電気設備補修	23,918千円

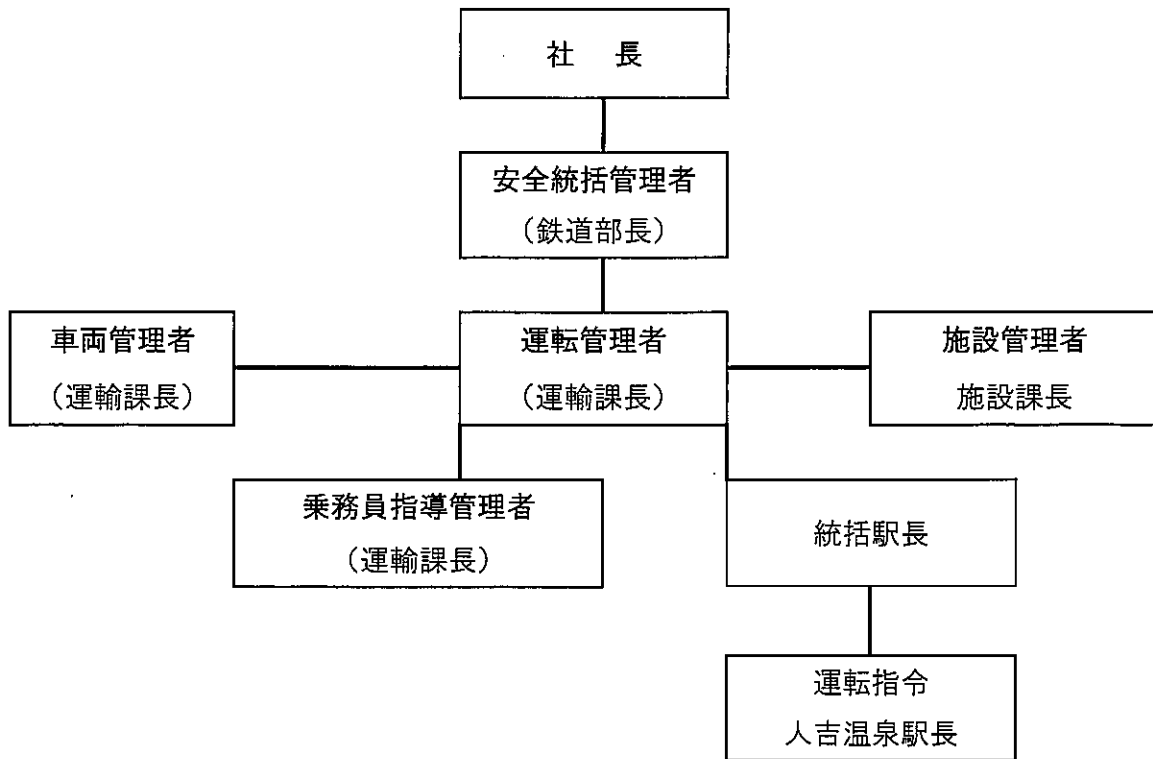
○車両関係

検査修理費	20,090千円
-------	----------

4.安全管理体制

(1) 組織体制

当社では、社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しています。この組織の中で、安全統括管理者、各部門の管理者等がそれぞれの責務を明確にしたうえで安全確保のための役割を担っています。



(2) 各管理者の役割

役 職	役 割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
鉄道部長 【安全統括管理者】	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
運輸課長 【運転管理者・乗務員指導管理者】	安全統括管理者の指揮の下、運転・車両に関する事項及び運転士の資質の保持に関する事項を統括する。
施設課長 【施設管理者工務担当】	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。

5.利用者・地域の皆さまとの連携とお願い

(1) 沿線の除草作業について

くま川鉄道沿線地域、錦町・あさぎり町・多良木町・湯前町の地域の皆さまのご協力で、令和2年7月以降定期的に沿線の除草を実施いただいています。当社社員も一緒に、感謝の気持ちで取り組んでおります。

(2) 防犯カメラの設置

くま川鉄道では、安心して駅施設を利用いただけるように、主要駅に防犯カメラを設置しております。また、設置駅においては、防犯カメラ「作動中」の掲示物を貼って、犯罪の抑止に努めております。

(3) 視覚障害者へのお客さまへの対応について

視覚障害者のお客さまがホームから転落されてお亡くなりになるという悲惨な事故が、全国の鉄道会社で発生しています。社員にも、ホームでのお困りのお客さまへの積極的な声掛けや、対面による助勢も進んで行うように心がけております。

6. 人材育成

世代交代が進んでおりますが、新人運転士ばかりでなく各部署の社員も、基本動作訓練等絶対事故を起こさないという安全意識を持たせる必要があります。そのためには、日々の業務はもちろん、教育訓練等の充実に図り、更なる知識の向上を図りながら、無事故への取り組みの強化と技術継承等積極的に進めてまいります。

7. 安全報告書へのご意見に対する連絡先

安全報告書へのご意見、当社の安全への取り組みに対するお声をお寄せください。

くま川鉄道お客さまご案内窓口

TEL.0966-23-5011 FAX.0966-23-3897

E-mail info@kumagawa-rail.com

※ 8 : 3 0 ~ 1 7 : 3 0